



BUILT FOR POWERCORE



TUBE-TECH CL 1B

VIRTUAL COMPRESSOR / LIMITER

マニュアル

TUBE-TECH

DISTRIBUTED BY

t.c. electronic

TC Support Interactive

TC Support Interactive (www.tcsupport.tc) は、オンライン・サポートと情報提供のためのウェブサイトです。TC Support Interactive では、TC ソフトウェア／ハードウェア製品に関する一般的な質問の解答を、製品／カテゴリー／キーワード／フレーズから検索可能です。一度サイトで登録を行ってログインすれば、「My Stuff」セクションから、質問の状況を調べたり、製品マニュアル／ソフトウェア・アップデート／プリセット等のダウンロードが行えます。

データベースは TC 製品に関する最新の情報が満載です。お求めの情報がデータベースにない場合は、質問を提出することも可能です。この場合は、TC のテクニカル・サポートのスタッフが電子メールでご連絡させていただきます。



連絡先

また、インターネット以外でのお問い合わせにつきましては、各地域の TC 支社または輸入代理店までご連絡ください。

TC ELECTRONIC A/S

Customer Support

Sindalsvej 34

Risskov DK-8240

Denmark

USA:

TC Electronic, Inc.

5706 Corsa Avenue, Suite 107

Westlake Village, CA 91362

www.tcelectronic.com

© BY LYDKRAFT APS & TC ELECTRONIC A/S 2007. ALL PRODUCT AND COMPANY NAMES ARE TRADEMARKS OF THEIR RESPECTIVE OWNERS. LYDKRAFT IS A TRADEMARK OF LYDKRAFT APS. VST IS A TRADEMARK OF STEINBERG AG, AUDIO UNITS IS A TRADEMARK OF APPLE COMPUTER, INC. ALL SPECIFICATIONS SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL RIGHTS RESERVED. TC Electronic is a TC Group company.

THIS SOFTWARE CONTAINS SIMULATION TECHNOLOGY DEVELOPED BY AND PROPRIETARY TO SOFTUBE AB OF SWEDEN AND IS PROTECTED BY PATENT SE25332 AND PENDING PATENTS US2004-0258250, EP1492081, JP2004-183976

目次

サポート連絡先	2
目次	3
はじめに - by Frank Filipetti	4
動作環境	5
DSP 消費量	5
プラグイン概要 & パラメータ	6
PRESETS - プリセット・セクション	9
デフォルト・プリセットの保存場所	9
A/B 比較	10

はじめに - by Frank Filipetti

エンジニア／プロデューサーとして、活用できる新しい（そしてヴィンテージの）機材の数には日々驚かされるばかりです。それでも、私は、自分のサウンドを形成するために信頼を置いている特定の機材にいつのまにか戻っているのをよく発見します。Tube-Tech CL 1B はそういった常に手元においておきたい機種の一つです。80年代の半ば、John Peterson からコンタクトがあり、私は彼らの最初のコンプレッサーである CL 1A のプロトタイプに触れる機会を与えられました。その際には、好印象を持ったものの、いくつかひっかかった点があり、いくつかの提案があったことを記憶しています。私の提案が CL 1B につながったとは思っていませんが、CL 1B の最終版は私が気づいた全ての点について対処が施され、それ以外でも多くの点で進化していたことは大変印象的でした。

CL 1B は、私の手がけてきたレコーディングの重要な要素となっています。チューブ機器ならではのウォームな特徴を持ちながら、ソフトであったり立ち上がりが遅かったりということはありません。固定と可変のアタックとリリース・ノブ、そして可変のスレッシュホールドとレシオは私がヴィンテージ・コンプレッサー／リミッターに求める全てを満たしてくれます。1.5:1 か 2:1 で高速なアタックとリリース、というのが私のヴォーカルの定番セッティングです。また、バスドラ／アコースティック・ギター／ピアノ／ベースとあらゆる素材に対して、レシオを上げてアタックとリリース・タイムを長く取ったセッティングを使用します。CL 1B を使わないのはミックス・バスに対するコンプレッション程度でしょうか。そちらには、今や手放すことの出来ない Tube-Tech SMC 2B を使用しています。

-Frank Filipetti

バイオグラフィ

Frank Filipetti は 1971 年に NY でシンガー・ソングライターとしてキャリアをスタート。10年の年月で3枚のレコードと2つのパブリッシングの実績を重ねた後、エンジニアリングとプロダクションにも分野を広げます。1983年にはナンバーワン・シングルとなったフォリナー「I Want To Know What Love Is」を手がけます。その後、ジェームズ・テイラー、キッス、ルチアーノ・パヴァロッティ、コートニー・ラブ、バーバラ・ストライザンド、デブ・グルーシン、コーン、カーリー・サイモン、エルトン・ジョン、マライア・キャリー、ロッド・スチュアート、ポール・マッカートニーなど多数のアーティストの作品や、映画監督マイク・ニコルズとノラ・エフロンサウンドトラックに参加。1998年にはジェームズ・テイラー「アワーグラス」のエンジニアとプロダクションで本人名義のグラミー賞を2つ、2000／2004／2005年にはオリジナル・キャスト・アルバム「アイダ」「ウィケッド」「スパマロット」のエンジニアとプロダクションでグラミー賞を受賞します。

5.1 サラウンド・ミックスの作品にも積極的に参加。1997年、プロデューサーのフィル・ラモーンとレコーディングとミックスを行なった N2K のアルバム「Dave Grusin - West Side Story」は市販された最初の 5.1 レコーディングの一つとなりました。近年では、ジェームズ・テイラー、ミートローフ、ビリー・ジョエル、ファイブ・フォー・ファイティング、エルトン・ジョン、ポリフォニック・スプリー、ポール・サイモン、フランク・ザッパなどの 5.1 ミックスを行なっています。

動作環境

Windows

PowerCore ソフトウェア、バージョン 2.2 以降
Windows XP
PIII 1.4 GHz 以上
512 MB RAM
VST 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

Macintosh

PowerCore ソフトウェア、バージョン 2.2 以降
Mac OS X (10.4 以上)
G4 / G5 / Intel 搭載機 (1 GHz 以上)
512 MB RAM
VST / AU / RTAS[®] 対応ホスト・アプリケーション
ホスト・アプリケーションの動作条件を満たしたシステム

※ RTAS (Pro Tools) の対応は、FXpansion 社によるサードパーティー製 VST-RTAS アダプター経由での動作となります。動作条件を含む詳細は www.tcsupport.tc をご参照ください。

はじめに

スクロール・ホイール対応

Windows XP / Mac OS X 共に、ホスト・アプリケーションが対応している場合は全てのパラメータをスクロール・ホイールから操作できます。マウスをパラメータの値フィールドの上に移動し、スクロール・ホイールを動かすと、パラメータの値を上下できます。

キーボード・ショートカット

多くのホスト・アプリケーションでは、次のキーボード・ショートカットが使用できます。次のショートカットは、全てのパラメータに有効です。

Mac OS X のショートカット

デフォルト復帰 = オプション

Windows のショートカット

デフォルト復帰 = シフト + コントロール

DSP 消費量

第一世代の PowerCore ハードウェア (PowerCore Element / PowerCore PCI) における CL 1B 一つあたりの DSP 消費量は次の通りです。

44.1 kHz 時

モノラル：49%
ステレオ：61%

48 kHz 時

モノラル：54%
ステレオ：67%



CL 1B を第一世代の PowerCore で使用する
場合、88.2 と 96 kHz のサンプルレートは
未対応となります。

第二世代の PowerCore ハードウェア (Express / PCI mkII / Compact / FireWire) における CL 1B 一つあたりの DSP 消費量は次の通りです。

44.1 kHz 時

モノラル：33%
ステレオ：41%

48 kHz 時

モノラル：36%
ステレオ：45%

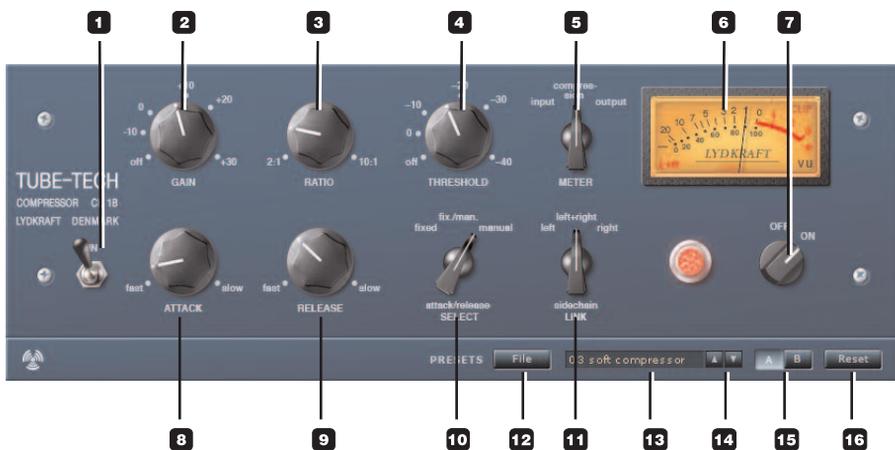
88.2 kHz 時

モノラル：69%
ステレオ：85%

96 kHz 時

モノラル：76%
ステレオ：93%

プラグイン概要 & パラメータ



1 IN スイッチ

CL 1B は 2 種類のバイパスを行なえます。IN スイッチは、メーターが機能し続ける状態で処理のみをオン／オフします。プラグインはバイパスされますが、DSP は消費されつづき、本体スイッチのイン／アウトを瞬時に切り替えられます。

2 GAIN - ゲイン

コンプレッションによるゲイン・ロスの補正を行ないます。ゲイン・リダクション・セクション後に配置されていますので、スレッシュホールドに影響を与えません。設定レンジはオフ～+30 dB で、連続可変です。

3 RATIO - レシオ

入力信号に対するコンプレッションの比率を調節します。2:1 の設定では、入力が 10 dB 上がる毎に出力は 5 dB 上がります。設定レンジは 2:1 ～ 10:1 で、連続可変です。

4 THRESHOLD - スレッシュホールド

信号がスレッシュホールド値を上回るとコンプレッサーが起動し、スレッシュホールド・ポイント以上の信号をレシオ・アタック・リリースの設定に応じて処理します。

5/6 METER - メーター

Input (インプット) - VU メーターは入力レベルを表示します。

Compression (コンプレッション) - ゲイン・リダクション量を表示します。0 VU でニュートラルとなり、コンプレッション量は dB を単位とする圧縮量を示します。

Output (アウトプット) - VU メーターは出力レベルを表示します。

11 SIDECHAIN LINK - サイドチェイン・リンク

この機能は、ステレオのオーディオ・ファイルを扱う場合にのみ有効です。Left+Right モードでは、R と L チャンネルがダイナミックなマスター／スレーブの関係となり、コンプレッションが強くなる方のチャンネルのコンプレッション特性がもう片方にも与えられます。これは、ハードウェア版の CL 1B (モノラル) 2 台を接続してステレオのプロセッシングを行なう場合に得られる反応に類似しています。

Left モードでは、L チャンネルのコンプレッション特性が R チャンネルに反映されます。Right モードはその逆となります。

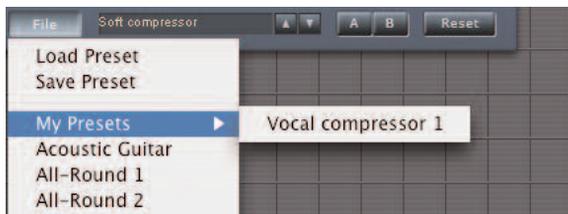
PRESETS - プリセット・セクション



セッティングのリコール（呼び出し）／ストア（保存）／コンペア（比較）が行なえます。

12 FILE - ファイル

File をクリックすると、ファイル・メニューが開きます。



Load Preset（ロード・プリセット） - デフォルト・プリセットをロードします。

Save Preset（セーブ・プリセット） - My Presets フォルダにプリセットを保存します。

My Presets（マイ・プリセット） - 独自に作成したプリセットをロードすることができます。



プリセットを My Presets フォルダ以外の場所に保存した場合、それらのプリセットは My Presets ドロップダウン・メニューに表示されません。その場合は、Load Preset 機能でロードするプリセットの場所を指定できます。

13 PRESET NAME - プリセット名

プリセット名です。

デフォルト・プリセットの保存場所

デフォルト・プリセットは、それぞれのプラグイン固有のフォルダに保存されます。

Mac OS X

ファクトリー・プリセット

<Macintosh HD>/ライブラリ/Application Support/Tube-Tech/CL 1B/Presets/

ユーザー・プリセット

<ユーザ名>/ライブラリ/Application Support/Tube-Tech/CL 1B/Presets/

Windows

ファクトリー・プリセット

C:\Program Files\Tube-Tech\CL 1B\Presets\

ユーザー・プリセット

C:\Documents and Settings\<ユーザー名>\My Documents\Tube-Tech\CL 1B\Presets\

- プリセット・ファイルを消去するには、ゴミ箱に移動します。
- プラグイン・メニューでサブフォルダが表示される様にするには、プラグインのデフォルト・プリセットの保存場所にある PRESETS フォルダ内に新しいフォルダを作成します。



フォルダ内に最低一つのプリセットが含まれていないと、フォルダはプリセット・ファイル・メニューに表示されません。

14 Up / Down - アップ/ダウン

上下矢印でプリセットを順番に切り替えることができます。

15 A / B

A/B 比較機能で、二つの設定を比較しながら作業を進めることができます。

プリセットの操作をはじめた段階では、A/B ボタンは灰色で表示されます。この状態は、A と B の内容は同一で、比較を行なう内容がないことを示します。

パラメータを一つでも変更すると、メモリー「A」がアクティブとなります。パラメータの変更内容は全て「A」に反映されます。「B」に変更すると、始点に戻り、そこからの変更は全て「B」に反映されます。A/B ボタンを押すごとに、この二つの状態が切り替わります。



A/B メモリーは、あくまでも一時的な設定の保存場所です。プリセットの保存は、現在選択されているメモリー場所のみを保存します。他の（隠れた）メモリー場所の設定は、保存されません。

16 Reset - リセット

Reset ボタンを押すとメモリーがクリアされ、プリセットがリコールされた元の状態に戻ります。